

産業建設常任委員会

日 時 令和 8 年 9 月 1 1 日（金）午前 1 0 時から
場 所 全員協議会室

議 題

1 付託案件（2 件）

- (1) 議案第 4 5 号 令和 8 年度射水市下水道事業会計補正予算（第 2 号）
- (2) 議案第 4 9 号 公有水面埋立てに関する意見について

2 報告事項（6 件）

- (1) 歌の森運動公園大型複合遊具更新の公募型プロポーザルの実施結果について
(都市整備部 都市計画課 資料 1)
- (2) 令和 7 年度射水市水道事業の決算見込みについて
(上下水道部 上下水道業務課 資料 1)
- (3) 令和 7 年度射水市下水道事業の決算見込みについて
(上下水道部 上下水道業務課 資料 2)
- (4) 上下水道事業経営委員会の審議状況について
(上下水道部 上下水道業務課 資料 3)
- (5) 下水道災害復旧事業（三ヶ（伊勢領四区）外地内）の工事請負契約について
(上下水道部 下水道工務課 資料 1)
- (6) 下水道災害復旧事業（鷺塚地内）の工事請負契約について
(上下水道部 下水道工務課 資料 2)

3 その他

歌の森運動公園大型複合遊具更新の公募型プロポーザルの実施結果について

1 事業の概要

歌の森運動公園について、民間事業者の企画力や技術力を生かした提案を公募型プロポーザルにより広く募集し、子育て世代にも選ばれる公園の新たなシンボルとして大型複合遊具を更新するもの。

2 事業の経過

時 期	実施内容
令和 8 年 4 月 3 0 日～6 月 3 0 日	実施要領の公表、企画提案書等の提出
令和 8 年 7 月 6 日～7 月 1 3 日	小学校におけるアンケート調査の実施
令和 8 年 8 月 1 0 日	プレゼンテーション審査、優先交渉権者の決定
令和 8 年 8 月 1 2 日	審査結果及び優先交渉権者の公表

3 公募参加事業者数

3 事業者

4 優先交渉権者の選定

外部有識者及び市職員の計 5 名で構成する事業者選定委員会を設置し、大型複合遊具等の利用者である子どもたちの評価も採点に加え、参加事業者の企画提案を総合的に審査の上、優先交渉権者を選定した。

(1) 優先交渉権者

事 業 者 名：タカオ株式会社

代 表 者 名：高尾 典秀

所 在 地：広島県福山市御幸町中津原 1 7 8 7 番地の 1

(2) 得点

総得点 3 2 8 点（1 0 0 点満点換算 6 5. 6 点）

5 選定委員会の講評

タカオ株式会社の提案は、多様な遊びが体験できる立体的な回遊空間が、子どもたちの想像力と冒険心を育み、様々な動きが運動機能を高めることに加え、障がいなどの有無に関わらず、みんなで遊べるインクルーシブな要素も取り入れた遊具であった。

また、夏場でも滑走面の温度上昇を抑え、風が通り抜けるパイプスライダーの提案や遊具周辺に日差しを遮るシェルターを複数配置し、快適に利用できる日陰空間の確保など、子どもだけでなく保護者にも配慮した提案であった。

6 契約日及び契約額

(1) 契約日

令和8年8月25日

(2) 契約額

137,500,000円（消費税等を含む）

7 今後のスケジュール（予定）

時 期	実施内容
令和8年 9月中旬	詳細設計着手
令和8年11月中旬	工事着手
令和9年 3月下旬	一部工事完成（大型複合遊具設置）
令和9年度	外構工事

<遊具のコンセプト>

五感でひらく、いみずの未来。

～歌と自然が育む、ぼくらの UNIQUE (ユニーク)～

<歌の森運動公園大型遊具イメージパース図>



※パースはイメージです。色の仕上り等実物と多少異なります。

令和 7 年度射水市水道事業の決算見込みについて

1 概況

水道事業では、将来にわたり持続可能な事業運営を確立するため、水道事業ビジョンに掲げた『未来へつなぐ安全安心の水道』の実現に向け、経営基盤の強化に取り組んでいます。近年の水需要の減少を踏まえ、効率的な事業運営に努めるとともに、大規模地震発生時においても生活に必要な水を供給するため、老朽化した水道管路については、基幹管路を軸とした効果的な更新を積極的に推進しました。あわせて、主要施設における電気設備の更新など、安全安心な水の供給の実現に向けた取組を推進しています。

2 業務量

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	対前年度比較
給水人口	88,457 人	89,180 人	△ 723 人
給水栓数	36,676 栓	36,614 栓	62 栓
配 水 量	10,443,917 m ³	10,693,168 m ³	△ 249,251 m ³
有収水量	9,656,298 m ³	9,696,545 m ³	△ 40,247 m ³
有 収 率	92.5 %	90.7 %	1.8 ポイント
1日最大配水量	34,689 m ³ (2月9日)	37,992 m ³ (2月6日)	△ 3,303 m ³

3 財務諸表

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	令和 7 年度	令和 6 年度	対前年度比較	科 目	令和 7 年度	令和 6 年度	対前年度比較
水道事業収益	2,020,000	1,997,968	22,032	水道事業費用	1,837,321	1,817,061	20,260
営業収益	1,737,835	1,835,275	△ 97,440	営業費用	1,735,190	1,714,909	20,281
営業外収益	267,079	155,878	111,201	営業外費用	102,131	102,152	△ 21
特別利益	15,086	6,815	8,271	特別損失	0	0	0

当年度純利益182,679千円（対前年度比較1,772千円の増）

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	令和 7 年度	令和 6 年度	対前年度比較	科 目	令和 7 年度	令和 6 年度	対前年度比較
資 産	22,553,886	22,242,592	311,294	負 債	9,759,783	9,696,268	63,515
固定資産	20,861,254	20,515,312	345,942	固定負債	7,526,866	7,565,102	△ 38,236
流動資産	1,692,632	1,727,280	△ 34,648	流動負債	865,465	924,230	△ 58,765
				繰延収益	1,367,452	1,206,936	160,516
				資本金	12,166,647	11,790,547	376,100
				剰余金	627,456	755,777	△ 128,321
				資本剰余金	0	0	0
				利益剰余金	627,456	755,777	△ 128,321
資産合計	22,553,886	22,242,592	311,294	負債・資本合計	22,553,886	22,242,592	311,294

(3) 剰余金処分（案）

令和 7 年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金446,455,896円のうち263,000,000円を資本金に組み入れるとともに、183,000,000円を減債積立金に積み立て、残金455,896円を繰り越すものとする。（繰越利益剰余金）

4 資金不足比率

— %

令和7年度射水市下水道事業の決算見込みについて

1 概況

下水道事業では、下水道事業ビジョンに掲げる「未来に続く確かな水環境の創造」に基づき、効率的な維持管理や効果的な建設改良を進めることで、次代に引き継ぐ健全な経営環境の実現に向けて取り組んでいます。

令和7年度においては、身近な生活インフラである下水道施設を恒久的に運営するため、老朽管渠の改築やポンプ施設の更新を行うとともに、近年の局地的な豪雨による浸水被害に対して、市民の安全・安心を確保するため、作道第1排水区、小島排水区及び内水ハザードマップ作成業務などの雨水対策事業に積極的に取り組みました。

また、埼玉県八潮市の下水道管路の破損事故を契機とした下水道管路の全国特別重点調査の実施要請を受け、潜行目視調査を行い、緊急度判定箇所の空洞調査及び対策工事を実施するとともに、昨年度から引き続き、能登半島地震による被害の災害復旧工事に取り組みました。

2 業務量

項 目	令和7年度	令和6年度	対前年度比較
水洗化人口	84,831 人	85,046 人	△ 215 人
接続件数	35,503 世帯	34,967 世帯	536 世帯
処理水量	10,864,308 m ³	11,246,884 m ³	△ 382,576 m ³
有収水量	8,254,501 m ³	8,290,832 m ³	△ 36,331 m ³
有収率	76.0 %	73.7 %	2.3 ポイント
1日最大処理水量	82,317 m ³ (8月7日)	54,810 m ³ (5月29日)	27,507 m ³

3 財務諸表

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	令和7年度	令和6年度	対前年度比較	科 目	令和7年度	令和6年度	対前年度比較
下水道事業収 益	3,801,328	3,685,036	116,292	下水道事業費 用	3,778,684	3,545,276	233,408
営業収益	1,847,609	1,852,113	△ 4,504	営業費用	3,194,297	3,239,850	△ 45,553
営業外収益	1,842,128	1,802,762	39,366	営業外費用	272,703	305,426	△ 32,723
特別利益	111,591	30,161	81,430	特別損失	311,684	0	311,684

当年度純利益22,644千円（対前年度比較117,116千円の減益）

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	令和7年度	令和6年度	対前年度比較	科 目	令和7年度	令和6年度	対前年度比較
資産	57,187,465	57,155,630	31,835	負債	42,085,891	42,294,602	△ 208,711
固定資産	55,342,892	55,814,272	△ 471,380	固定負債	16,473,421	17,143,449	△ 670,028
流動資産	1,844,573	1,341,358	503,215	流動負債	3,400,562	2,918,870	481,692
				繰延収益	22,211,908	22,232,283	△ 20,375
				資本金	14,598,594	13,920,843	677,751
				剰余金	502,980	940,185	△ 437,205
				資本剰余金	213,379	209,140	4,239
				利益剰余金	289,601	731,045	△ 441,444
資産合計	57,187,465	57,155,630	31,835	負債・資本合計	57,187,465	57,155,630	31,835

(3) 剰余金処分（案）

令和7年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金149,600,610円のうち126,612,494円を資本金に組み入れ、また、当年度純利益は利益処分を行わず繰越利益剰余金22,988,116円を繰り越すものとする。
（繰越利益剰余金）

4 資金不足比率

— %

上下水道事業経営委員会の審議状況について

1 審議経過

	開催日	内容
第 1 回	令和 8 年 4 月 17 日（金）	諮問（事業運営の在り方・適正な料金水準） 事業概要及び経営状況
第 2 回	令和 8 年 7 月 30 日（木）	投資財政計画及び財源確保案について

2 第 2 回審議内容

- 委員数 10 名中 9 名出席
- 議 題 投資財政計画及び財源確保案について
- 主な提案内容
 - ・最新の投資財政計画
 - ・料金改定による財源確保（案）
- 委員からの主な意見
 - ・市民の生活水準を維持するため料金改定はやむを得ない。
 - ・資産維持費など改定に必要な水準の理解が難しいため、一般市民に対しては理解可能な説明が必要である。
 - ・料金算定期間以降の見通しと対応策も示す必要がある。
 - ・当たり前の生活に必要な上下水道の重要性をもっと市民に周知する必要がある。
 - ・下水道で提案された改定案で事業が健全に継続できるのか不安である。
 - ・物価高騰等が続く中、生活に欠かせない上下水道料金はできる限り改定率を抑制してほしい。
 - ・生活困難者への配慮が必要である。また、事業者など大口需要者への負担も過度とならないよう配慮する必要がある。

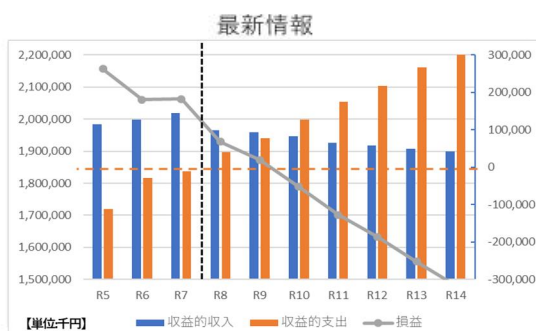
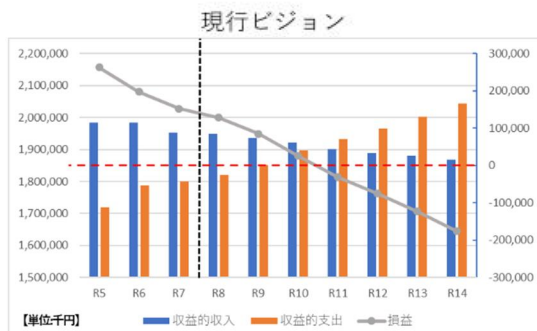
3 今後の予定

	開催時期	審議内容
第 3 回	令和 8 年 10 月頃	適正な料金水準及び料金体系について
第 4 回	令和 9 年 1 月～2 月	基本料金・従量料金の配分について
第 5 回	令和 9 年 3 月～4 月	継続審議 答申内容の確認

事務局からの主な提案内容

1. 最新の投資財政計画

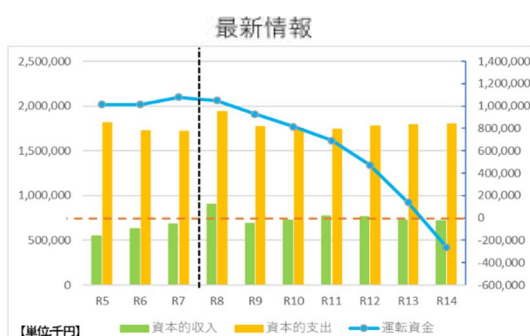
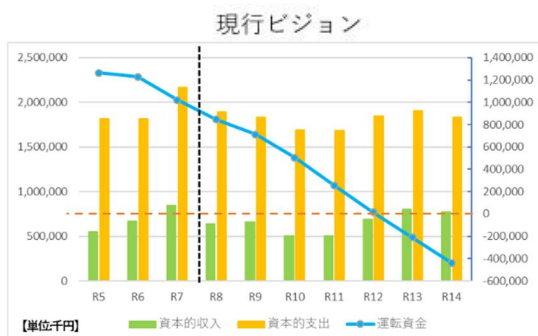
水道事業 収益的収支の見通し



- ◆ 令和7年度までの決算値を反映
- ◆ 令和8年度以降の予測による費用増加要因
 - ・ 借入利息の増（現行2%をR7実績3%から徐々に上昇）
 - ・ 受水費の増（県事業の借入利息の上昇）
 - ・ 動力費、修繕費、委託料の物価高騰加算 等

損益悪化速度が加速し、赤字見込みは令和11年度から10年度へ前倒し

水道事業 資本的収支の見通し



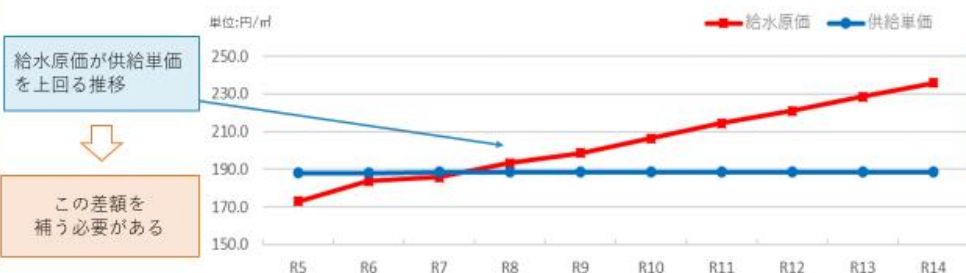
- ◆ 令和7年度までの決算値を反映
- ◆ 国の補助金制度による予定変更
 - 管路更新事業遅延による計画見直し
- ◆ 国の繰出基準変更による出資金の増
 - 運転資金の増

純利益が減少するが、一般会計繰入金の増加等により、運転資金の減少速度が緩和

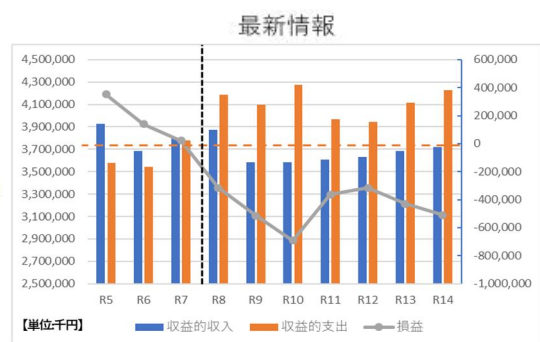
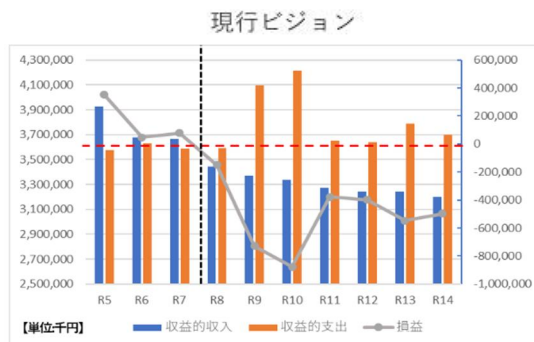
水道事業 供給単価と給水原価

供給単価 … 有収水量1㎡当たりについて、どれだけの収益を得ているかを表す指標

給水原価 … 有収水量1㎡当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標



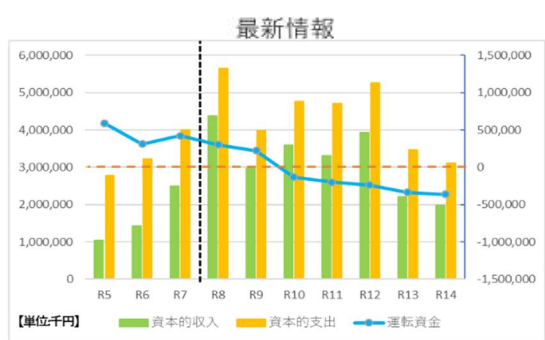
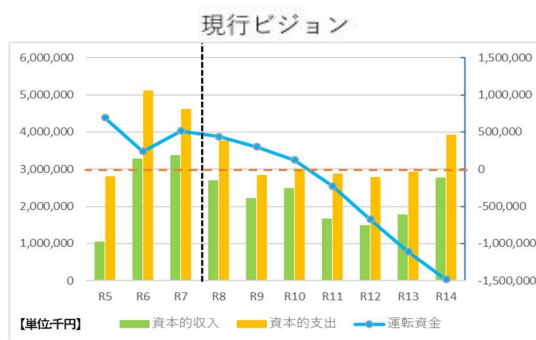
下水道事業 収益的収支の見通し



- ◆令和7年度までの決算値を反映
- ◆令和8年度以降の予測による費用増加要因
 - 借入利息の増（現行2%をR7実績3%から徐々に上昇）
 - ・流域下水道維持管理負担金の増（県事業単価の上昇）
 - ・動力費、修繕費、委託料の物価高騰加算 等

損益悪化速度が加速し、令和8年度から大幅な赤字となる見込み

下水道事業 資本的収支の見通し

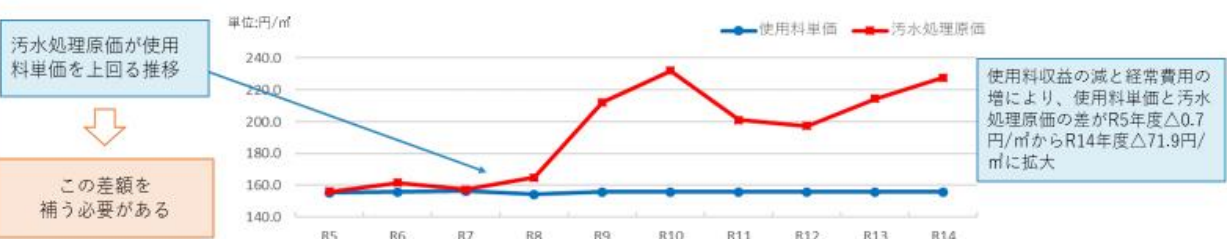


- ◆令和7年度までの決算値を反映
- ◆災害復旧事業の発注・完了時期のずれを反映
- ◆令和8～9年度の資金不足を一般会計借入で補てん
- ◆最新のストックマネジメント事業計画（設備更新計画）による事業量増加

投資額は増加するが、一般会計借入と内部留保資金（減価償却・資産減耗）の増加により資金減少速度は緩和

下水道事業 使用料単価と汚水処理原価

- 使用料単価** ... 下水道使用料収入を年間有収水量で除したものの。有収水量1㎡当たりの下水道使用料収入であり、下水道使用料の水準を示す指標。
- 汚水処理原価** ... 有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費及び汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標。



2. 料金改定による財源確保（案）

◆水道事業

	料金改定率	備考（改定基準）
パターンⅠ	－	R10以降赤字となる。 R14運転資金が底をつく。⇒ 経営破綻
パターンⅡ	35%	R14経費回収率 107.9% R10-14平均純損益 424,782千円 資産維持率1.94%相当の利益確保
パターンⅢ	29%	R14経費回収率 103.1% R10-14平均純損益 319,915千円 資産維持率1.46%相当の利益確保
パターンⅣ	25%	R14経費回収率 100.0% R10-14平均純損益 251,747千円 資産維持率1.15%相当の利益確保

参 考	48%	R14経費回収率 118.3% R10-14平均純損益 651,994千円 資産維持率2.97%相当の利益確保
-----	-----	---

◆下水道事業

	使用料改定率	備考（改定基準）
パターンⅠ	－	R14経費回収率が80%を下回る。⇒ 交付金対象外 運転資金が底をつく。⇒ 経営破綻
パターンⅡ	41%	R14経費回収率【全体88.6%：公共100%・特環91.5%・農集46.6%】 預金平均 18億円以上・運転資金平均13億円以上確保 ⇒ 一般会計返済可能 R14までの純利益を確保 R10-14平均純損益 56,989千円
パターンⅢ	31%	R14経費回収率【全体86.2%：公共100%・特環85.0%・農集43.3%】 預金平均 14億円以上・運転資金平均9億円以上確保 ⇒ 使用料1年分確保 R14までの経常収支利益を確保（純損益はR13から赤字）
パターンⅣ	24%	R14経費回収率【全体84.3%：公共100%・特環80.4%・農集41.0%】 預金平均 12億円以上・運転資金平均6億円以上確保 ⇒ 使用料1年分確保 R10-14の5年トータルで経常収支利益を確保（純損益は全て赤字）

参 考	55%	R14経費回収率【全体91.5%：公共100%・特環100%・農集51.2%】 預金平均23億円以上・運転資金平均18億円以上確保 ⇒ 一般会計返済可能 R14までの純利益を確保 R10-14平均純損益 234,030千円
-----	-----	---

◆料金改定の影響額試算

1. φ20mm2か月で使用水量35m³の場合（R7平均水量）

現行	パターンⅣ	差額	パターンⅢ	差額	パターンⅡ	差額	参考	差額
水道料金 6,105	7,631	1,526	7,875	1,770	8,242	2,137	9,035	2,930
下水道使用料 5,555	6,888	1,333	7,277	1,722	7,833	2,278	8,610	3,055
計 11,660	14,519	2,859	15,152	3,492	16,075	4,415	17,645	5,985

2. φ20mm 2 か月で使用水量 0 m³の場合（基本料金）

現行	パターンⅣ	差額	パターンⅢ	差額	パターンⅡ	差額	参考	差額
水道料金 3,300	4,125	825	4,257	957	4,455	1,155	4,884	1,584
下水道使用料 3,080	3,819	739	4,035	955	4,343	1,263	4,774	1,694
計 6,380	7,944	1,564	8,292	1,912	8,798	2,418	9,658	3,278

下水道災害復旧事業（三ヶ（伊勢領四区）外地内）の工事請負契約について

1 事業目的

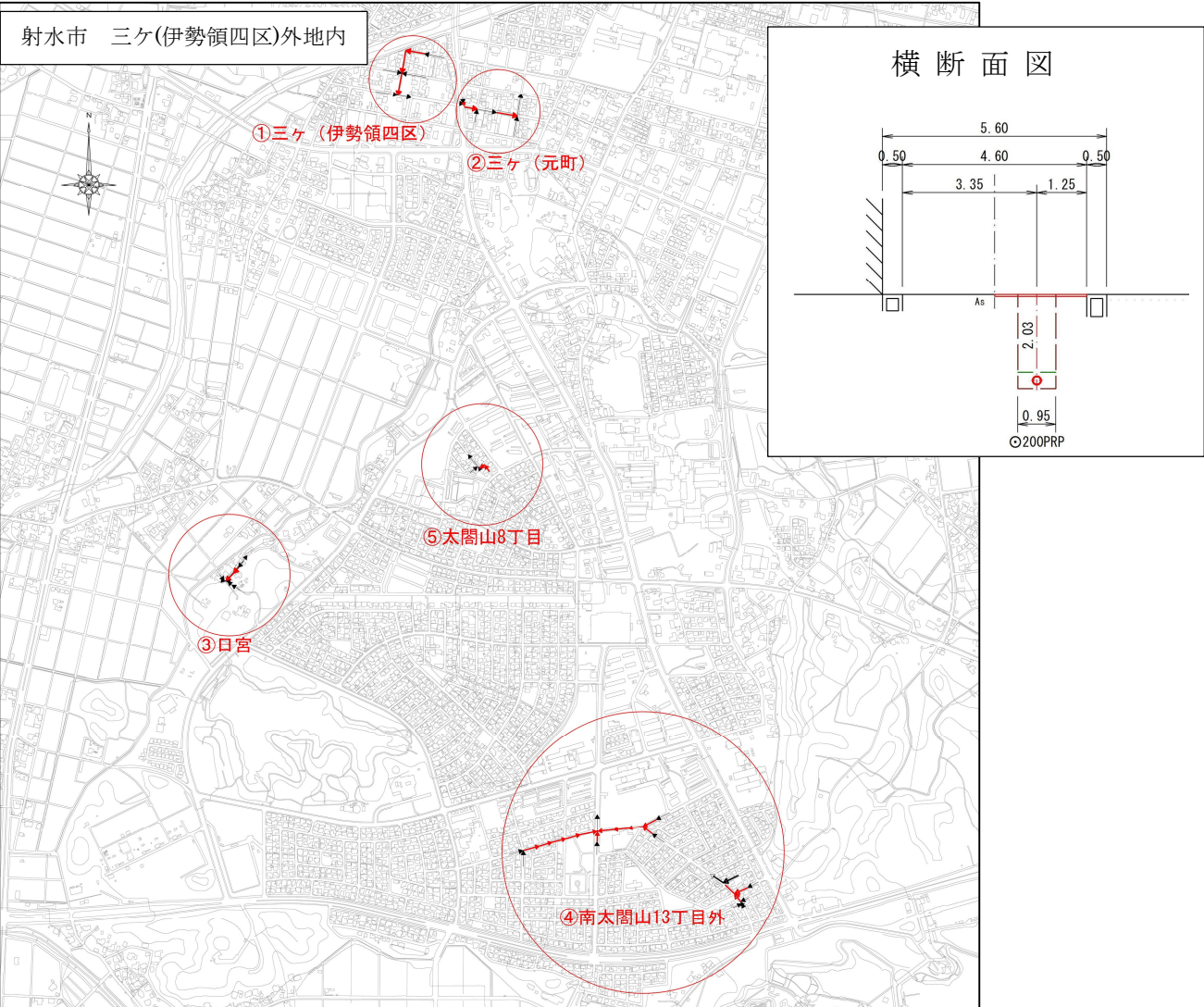
令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震により被災した三ヶ（伊勢領四区）外地内における公共下水道管の復旧工事を実施するものである。

2 工事請負契約の内訳

工事名：公共下水道 6 災 283 号小大 3-9-1 処理分区災害復旧（第 2 工区）工事

契約金額	受注者	予定工期 (余裕期間制度対象工事)	主な工事内容
222,530,000 円 (うち消費税等 20,230,000 円)	株式会社 四方組	入札日：令和 8 年 6 月 10 日 契約日：令和 8 年 6 月 17 日 実工期：令和 8 年 8 月 17 日 ～令和 9 年 8 月 23 日	工事延長 L=902.4m 管布設延長（開削工法） PRP φ 150 L=171.3m PRP φ 200 L=708.2m マンホール工 N=13 基 付帯工 N=1 式 工損事前調査 N=1 式

3 位置図・計画復旧断面図



下水道災害復旧事業（鷲塚地内）の工事請負契約について

1 事業目的

令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震により被災した鷲塚地内における公共下水道管の復旧工事を実施するものである。

2 工事請負契約の内訳

工事名：公共・特環下水道 6 災 154 号小大 3-13 処理分区災害復旧工事

契約金額	受注者	予定工期 (余裕期間制度対象工事)	主な工事内容
153,890,000 円 (うち消費税等 13,990,000 円)	北海工業 株式会社	入札日：令和 8 年 6 月 24 日 契約日：令和 8 年 6 月 26 日 実工期：令和 8 年 6 月 26 日 ～令和 9 年 3 月 19 日	工事延長 L=789.9m 管布設延長（開削工法） PRP φ 200 L=763.6m 内面補修工 VU φ 200 N=1 箇所 小口径マンホール工 N=1 基 付帯工 N=1 式 工損事前調査 N=1 式

3 位置図・計画復旧断面図

